

第6次行政改革大綱

平成17年度実行計画  
取り組み状況報告書

平成18年5月

## (1) 事務事業の見直し

### ①事務事業の簡素合理化と文書管理の改善

| 取り組み項目   | 改革の方向  | 実績  | 進捗状況 | 担当部署         |
|--|--|---|------|--------------|
| 市民運動会・市民スキー大会の開催方法の見直し   | 競技性重視からレク・健康増進・世代間交流へと目的を転換する。   | 市民ニーズを踏まえた新種目を提案し、競技のあり方を協議した。自治会長に参加の意思を確認し、大会委員会で協議・検討した。 | ○    | 生涯学習課        |
| 上水道・下水道使用料賦課徴収の一元化に向け調整  | 上・下水道料金の賦課・徴収を一元化し、市民にわかりやすくするとともに、事務の効率化を図る。                                | 平成18年11月実施に向け、導入システム・事務処理方法の検討と経費負担調整を行った。                  | △    | 都市整備課<br>水道課 |
| 事務事業の廃止・縮減<br>・健康衛生カレンダー作成事務<br>・ファイトレメディエーション実証事務<br>・しぼり大根生産拡大奨励事業事務<br>・5市交歓野球大会随行事務<br>・科学技術振興会事務<br>・農業用廃プラスチック処理事業事務 | スクラップ・アンド・ビルド（組織・事業の肥大化を防ぐため、部・課それぞれのレベルにおける組織・事業単位数を増やさないと前提とした基本原則）の徹底を図る。 | ・健康衛生カレンダー作成事務→廃止   | ○    | 福祉保健センタ<br>ー |
|  |  | ・ファイトレメディエーション実証事務→終了                                       | ○    | 農林課          |
|  |  | ・しぼり大根生産拡大奨励事業事務→終了   | ○    | 〃            |
|  |  | ・5市交歓野球大会随行事務→公務としては廃止済み。                                   | ○    | 議会事務局        |
|  |  | ・科学技術振興会事務→18年度に策定する「(仮称)鹿角市学校教育振興中期方針」で結論を出すこととした。         | ×    | 総務学事課        |
| 各種団体の自主運営の推進及び事務処理団体の育成<br>・民生・児童委員協議会<br>・林活・上津野愛瀾詩会  | 市で事務局をしている団体等について育成・指導を図り、事務局の移管を推進する。                                       | ・民生・児童委員協議会→社会福祉協議会に事務局移管。                                  | ○    | 福祉保健センタ<br>ー |
|  |  | ・林業活性化議員連盟→事務局を移管。  | ○    | 議会事務局        |
|  |  | ・上津野愛瀾詩会→廃止。  | ○    |              |

### ②民間委託等の推進

| 取り組み項目                                | 改革の方向                | 実績                                    | 進捗状況 | 担当部署         |
|---------------------------------------|----------------------|---------------------------------------|------|--------------|
| 貸付制度の見直し<br>・高齢者住宅整備資金<br>・母子寡婦住宅整備資金 | 金融機関を通じた貸付制度への移行を図る。 | ・高齢者住宅整備資金→廃止。                        | ○    | 福祉保健センタ<br>ー |
|                                       |                      | ・母子寡婦住宅整備資金→民間では対応できず、制度は必要と判断し、継続する。 | ×    |              |

| 取り組み項目  | 改革の方向                     | 実績   | 進捗状況        | 担当部署  |
|---|---------------------------|--|-------------|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・出産育児支援金</li> <li>・障害者住宅整備資金</li> </ul>                                      |                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出産育児支援金→廃止。</li> <li>・障害者住宅整備資金→民間では対応できず、制度は必要と判断し、継続する。</li> </ul>   | ○<br>×      |       |
| 事務事業の民間委託<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの運営・更新</li> <li>・広報誌の取材・編集</li> <li>・市表彰式及び式典</li> </ul> | 事務事業の民間委託について割合を拡大及び検討する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの運営・更新→検討。</li> <li>・広報誌の取材・編集→全面委託は困難だが、取材業務等に市民参加を検討。</li> <li>・市表彰式及び式典→会場を民間施設にし、会場準備を委託。</li> </ul> | ×<br>×<br>○ | 総務企画課 |

③市政の広域的取り組みの推進  
なし

④公共施設の適正な管理運営と有効利用

| 取り組み項目  | 改革の方向                               | 実績   | 進捗状況             | 担当部署                  |
|---|-------------------------------------|--|------------------|-----------------------|
| 公共施設への指定管理者制度の導入<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・柴平地域活動センター</li> <li>・下川原市民農園</li> <li>・先人顕彰館</li> <li>・大湯ストーンサークル館</li> </ul>         | 所管する公共施設への指定管理者制度の活用を検討する。          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・柴平地域活動センター→関係自治会を指定管理者とした。(指定期間：5年)</li> <li>・下川原市民農園→関係自治会を指定管理者とした。(指定期間5年)</li> <li>・先人顕彰館→専門知識を持つ既存民間組織の指定は困難のため、共動パートナー制度の導入を検討することとした。</li> <li>・大湯ストーンサークル館→事務事業の展開には専門知識が必要であり、受け皿となる団体の確保が難しく、引き続き検討することとした。</li> </ul> | ○<br>○<br>○<br>○ | 農林課<br><br>生涯学習課      |
| 低利用施設の利用拡大と管理運営の見直し<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉センター</li> <li>・高齢者生きがいコミュニティセンター</li> <li>・鉾山歴史館</li> <li>・勤労青少年ホーム</li> </ul> | 利用率が低く、老朽化した公共施設の段階的廃止または無償譲渡を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉センター→直営の方向だが、デイサービス機能を新設して利用率の向上を図る。</li> <li>・高齢者生きがいコミュニティセンター→冬季間(1～3月)は予約日のみの開館とした。</li> <li>・鉾山歴史館→直営で、清掃業務を部分委託。</li> <li>・勤労青少年ホーム→施設廃止の際、代替施設による名称の存続をすることで県と合意している。</li> </ul>                                      | ○<br>○<br>○<br>○ | 福祉保健センター<br><br>観光商工課 |

| 取り組み項目  | 改革の方向  | 実績   | 進捗状況 | 担当部署     |
|---|--|--|------|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働福祉会館</li> <li>・公民館分館</li> <li>・尾去沢体育館</li> <li>・各地区市民プール</li> </ul> |  | ・労働福祉会館→使用団体と譲渡について協議しているが、進展なし。               | ×    | 観光商工課    |
|   |  | ・公民館分館→全て廃止。7つの建物について地元自治会へ譲渡を進めた。             | ○    | 生涯学習課    |
|   |  | ・尾去沢体育館→廃止。                                    | ○    | スポーツ振興課  |
|   |  | ・各地区市民プール→熊沢・曙・松館・錦木を廃止。                       | ○    |          |
| 市単保育園及び学校の再編  | <p>適正規模及びあり方等について専門的な見地から検討し、市単保育園の統合による認可保育園化を含めた再編を進める。</p> <p>学校の再編については、『市学校中期振興計画（仮称）』を策定し、それに基づき再編を図る。</p> | ・末広保育園→19年度廃止予定。                               | △    | 福祉保健センター |
|   |  | ・「(仮称)鹿角市学校教育振興中期方針」を18年度に策定し、学校の再編について方向付けする。 | △    | 総務学事課    |

⑤環境に配慮した事務事業の実施

| 取り組み項目   | 改革の方向                                 | 実績   | 進捗状況 | 担当部署                     |
|----------|---------------------------------------|--|------|--------------------------|
| ごみ収集の有料化 | ごみの排出抑制・再利用・資源化を推進するため、ごみ収集の有料化を検討する。 | ・ごみ排出量の抑制効果の持続性など多くの課題があり、慎重に取り組む必要があることから、有料化は見送り。有料化の前に、ごみ減量化及びごみ処理コスト削減のための実行計画を策定した。 | ×    | 市民サービス課<br>広域行政<br>組合事務局 |

⑥公正の確保と透明性の向上  
なし

⑦市民参加の推進

| 取り組み項目                      | 改革の方向                                      | 実績  | 進捗状況 | 担当部署    |
|-----------------------------|--|---|------|---------|
| NPO・ボランティア等との「共動」についての指針の策定 | NPO等をまちづくりパートナーと位置付け、委託・共動を推進する。           | ・鹿角市共動パートナー制度実施要綱を定め、18年度より窓口案内業務を「ベニヤマザクラの会」に委託。 | ○    | 市民サービス課 |
| パブリックコメント制度の導入              | 計画策定段階で、市民の意見を求める「パブリックコメント制度」について導入を検討する。 | ・総合計画後期基本計画策定にあたり試行し、3件意見をいただいた。                  | ○    | 総務企画課   |

## (2) 組織・機構の簡素効率化

### ①組織・機構の見直し

| 取り組み項目               | 改革の方向                                 | 実績   | 進捗状況 | 担当部署    |
|----------------------|---------------------------------------|--|------|---------|
| 組織・機構の再編<br>・各市民センター | 地域コミュニティの核となる機能を持った施設として段階的に再構築を図ります。 | ・市民センター、地区体育館、運動広場を市長部局に移管し、地域づくりの拠点として一体的に運営することとした。<br>・市民センターの運営母体となる「地域づくり協議会」を4地区に設立した。 | ○    | 市民サービス課 |

### ②各種審議会等の見直し

| 取り組み項目  | 改革の方向   | 実績                              | 進捗状況 | 担当部署  |
|---|---|---------------------------------|------|-------|
| 活動実績の少ない、または類似審議会等の再編<br>・花輪図書館協議会と十和田図書館協議会の統合 | 蔵書情報のデータベース化の早期完成とネットワーク化による配本システムの確立とあわせて検討する。 | ・新図書館設立まで両協議会の統合はできないが、委員を削減した。 | △    | 生涯学習課 |

### ③外郭団体の見直し

| 取り組み項目                 | 改革の方向                              | 実績   | 進捗状況 | 担当部署  |
|------------------------|------------------------------------|--|------|-------|
| 公社・第三セクターの経営改善及び再編等の推進 | 自己責任の確立と企業意識に基づいた効果的な運営方法の確立を図ります。 | ・(有)八幡平地域経営公社→助役が取締役になっているが、18年6月に退任の予定。                 | △    | 農林課   |
|                        |                                    | ・(株)尾去沢鉱山観光→17年12月で解散となり、メインランド尾去沢は(株)ゴールデン佐渡に譲渡された。     | ○    | 観光商工課 |
|                        |                                    | ・八幡平山麓開発事業団→アスピアの管理を返上するなど整理へ向けた動きがあるが、債務処理が計画通り進展していない。 | ×    |       |

### ④市議会の活性化及び監査の見直し

| 取り組み項目   | 改革の方向                                    | 実績                    | 進捗状況 | 担当部署  |
|----------|--|-----------------------|------|-------|
| 常任委員会の公開 | 積極的に情報の開示に取り組み、行政・議会・市民の三者の信頼関係の構築を図ります。 | ・6月の常任委員会から公開。傍聴数11名。 | ○    | 議会事務局 |

### (3) 定員管理の適正化と人材育成の推進

#### ①定員管理及び給与の適正化

| 取り組み項目     | 改革の方向                          | 実績  | 進捗状況 | 担当部署  |
|------------|--------------------------------|---|------|-------|
| 特殊勤務手当の見直し | 社会情勢の変化や勤務実態を考慮しながら、手当の見直しをする。 | ・市税の賦課、特殊自動車運転の業務等、乳幼児の保育、簡水施設の緊急作業（深夜）、簡水水道業務→廃止<br>・ケースワーカー→月額支給から従事日数に応じた日額制に変更。 | ○    | 総務企画課 |
| 時間外手当の抑制   | 職員の健康管理と適正な時間外勤務の管理の徹底を図る。     | ・時間外手当の適正配分と計画的執行の指導を行い、支給額は抑制されている。  | ○    | 全 庁   |
| 旅費日当の見直し   | 日当の支給範囲や支給額の見直しをする。            | ・日当を支給しない日帰り旅行の範囲を北東北3県に拡大。   | ○    | 総務企画課 |

#### ②人材の育成・確保

| 取り組み項目           | 改革の方向                           | 実績     | 進捗状況 | 担当部署  |
|------------------|---------------------------------|--------|------|-------|
| 自主的なグループ研究活動への支援 | 自主的なグループ研究活動を奨励し、既存の研修制度の補完を図る。 | ・実績なし。 | ×    | 総務企画課 |
| 通信教育等受講への支援      | 職務に必要な通信教育等の受講しやすい環境に整備する。      | ・実績なし。 | ×    | 総務企画課 |

#### ③職員の能力開発・活用

| 取り組み項目     | 改革の方向                       | 実績     | 進捗状況 | 担当部署  |
|------------|-----------------------------|--------|------|-------|
| 職員提案制度の見直し | 各種プロジェクト等、政策への庁内公募制などを導入する。 | ・実績なし。 | ×    | 総務企画課 |

### (4) 情報化・広域化時代に対応した行政サービスの向上

#### ①IT化の推進

| 取り組み項目               | 改革の方向                                    | 実績                             | 進捗状況 | 担当部署  |
|----------------------|--|--------------------------------|------|-------|
| 地域公共ネットワーク（電子情報化）の推進 | サービスの利便性、正確性、信頼性を高めるために、公共施設の高速回線化を推進する。 | ・地域情報化推進対策事業（光ファイバー網の整備）を補助申請。 | ○    | 総務企画課 |

②窓口における対応の改善と行政サービスの総合化

| 取り組み項目                | 改革の方向                        | 実績                       | 進捗状況 | 担当部署  |
|-----------------------|------------------------------|--------------------------|------|-------|
| 明るい職場の雰囲気づくりと、あいさつの励行 | 市民に親しまれる市役所の職場環境作りを積極的に推進する。 | ・一課一目標の掲示<br>・「毎日が笑顔」の掲示 | ○    | 総務企画課 |

(5) 財政運営の効率化

①経費全般の見直し及び財政構造の改善

| 取り組み項目    | 改革の方向                        | 実績   | 進捗状況 | 担当部署              |
|-----------|------------------------------|--|------|-------------------|
| 税込確保      | 収納率の向上を図る。                   | ・嘱託徴収員の増員、国税還付金の差し押さえ、電話加入件の公売を実施したが、収納率は低下している。 | ×    | 税務課               |
| 広報等への広告掲載 | 広報及び市の公用封筒に企業広告を掲載することを検討する。 | ・企業へのアンケート調査を実施。                                 | △    | 総務企画課             |
| 公用車の削減    | 稼働率等を参考に、配車の見直しを検討する。        | ・公用車の稼働率を調査したが、現行どおりの体制とした。<br>・老朽化した1台を廃車。      | ○    | 総務企画課<br>福祉保健センター |

②補助金の見直し

| 取り組み項目  | 改革の方向                  | 実績   | 進捗状況 | 担当部署 |
|---------|------------------------|--|------|------|
| 補助金の見直し | 再度厳格な評価を行い、廃止・縮減を検討する。 | ・補助金交付事務の適正化を各課に周知。<br>・40事業が終了。縮減額約26百万円。 | ○    | 全庁   |

③受益者負担の適正化

| 取り組み項目  | 改革の方向                                   | 実績                             | 進捗状況 | 担当部署          |
|---|---|--------------------------------|------|---------------|
| 使用料及び手数料の見直し<br>・行政財産使用料<br>・斎場使用料<br>・納税証明書<br>・印鑑証明書<br>・し尿及び浄化槽手数料 | 事務事業に係る単位コストを算定し、特定の受益者に対する費用負担の見直しを図る。 | ・行政財産使用料→庁舎等の目的外使用料の運用の統一を図った。 | ○    | 総務企画課         |
|   |   | ・斎場使用料→18年度より圏域外利用を値上げ。        | ○    | 広域行政<br>組合事務局 |
|   |   | ・納税証明書→現在の算定根拠を検証。             | ×    | 税務課           |
|   |   | ・印鑑証明書→現在の算定根拠を検証。             | ×    | 市民サービス課       |
|   |   | ・し尿及び浄化槽手数料→公共下水道等と比較し、検討した。   | ×    | 広域行政<br>組合事務局 |

| 取り組み項目  | 改革の方向  | 実績   | 進捗状況 | 担当部署     |
|---|--|--|------|----------|
| 施設使用料等の減免規定の見直し<br>・湯瀬ふれあいセンター<br>・山村開発センター<br>・農業総合支援センター<br>・交流プラザ<br>・大湯振興プラザ<br>・総合運動公園<br>・市民センター<br>・先人顕彰館<br>・大湯ストーンサークル館<br>・地区体育館<br>・毛馬内運動公園<br>・城山野球場<br>・花輪スキー場 | 施設の類型ごとに明確な算定基準を設け、これに基づく使用料金体系を構築する。                      | ・減免割合を 10 割・5 割に統一し、減免対象団体の基準を統一する方針を決定したが、実施については、18 年度に行う使用料金体系の見直しとともに 19 年度から実施する。 | ×    | 関係課      |
| 保育料減免の見直し   | 安心して子どもを産み、育てることが出来る環境づくりに十分に配慮して慎重に検討を進め、段階的に最小限度で見直しを図る。 | ・18 年度から減免率の段階的な引き下げを実施  | ○    | 福祉保健センター |

④公共工事のコスト縮減  
なし

(17年度実行計画掲載以外の取り組み)

## (1) 事務事業の見直し

### ① 事務事業の簡素合理化と文書管理の改善

| 取り組み項目                  | 実績   | 担当部署                   |
|-------------------------|--|------------------------|
| 事務処理マニュアルの策定            | <ul style="list-style-type: none"> <li>国保、老保、福祉医療の関係事務をマニュアル化した。</li> <li>証明書交付、特別徴収等6件の事務をマニュアル化した。</li> <li>権限移譲に関する事務の事務処理要綱を策定した。</li> </ul> | 市民サービス課<br>税務課<br>消防本部 |
| 事務事業の廃止・縮減              | <ul style="list-style-type: none"> <li>国際交流事業→相互訪問事業を休止。</li> <li>職員の国外研修→休止。</li> <li>ふるさと大使制度→見直し。</li> </ul>                                  | 総務企画課                  |
|                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>国保健康保険無受診世帯表彰→廃止。</li> </ul>  | 市民サービス課                |
|                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>とわの里あんとら鹿角フェスティバル負担金→廃止。</li> </ul>   | 観光商工課                  |
|                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問看護ステーション→廃止。</li> </ul>   | 福祉保健センター               |
|                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>常任委員会の録音テープ反訳→要点記録に変更。</li> </ul>   | 議会事務局                  |
|                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>農業者年金加入者協会事務局→解散</li> </ul>   | 農業委員会事務局               |
| 各種団体の自主運営の推進及び事務処理団体の育成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>鹿角市農家生活研究グループ連絡会→事務局を団体に移管。</li> </ul>  | 農林課                    |
| 投票所の再編                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>投票所の再編に向けた現況調査を実施。</li> </ul>   | 選挙管理委員会                |
| 投票所閉所時間の見直し             | <ul style="list-style-type: none"> <li>7月市長選、9月衆院選において全投票所の閉所時間を1時間繰り上げ。</li> </ul>  | 選挙管理委員会                |

### ② 民間委託等の推進

| 取り組み項目    | 実績   | 担当部署           |
|-----------|--|----------------|
| 事務事業の民間委託 | <ul style="list-style-type: none"> <li>総合案内業務→18年度から行政パートナーへ委託。</li> <li>観光物産宣伝事業→18年度から(社)十和田八幡平観光物産協会へ委託。</li> </ul> | 総務企画課<br>観光商工課 |

### ③ 市政の広域的取り組みの推進

| 取り組み項目      | 実績  | 担当部署  |
|-------------|---|-------|
| 北東北連携軸の構築推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>5市サミット(能代市、大館市、二戸市、久慈市)に参加。</li> </ul> | 総務企画課 |

④公共施設の適正な管理運営と有効利用

| 取り組み項目              | 実績   | 担当部署     |
|---------------------|--|----------|
| 公共施設への指定管理者制度の導入    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農村公園→3施設について、関係自治会を指定管理者とした。(指定期間：5年)</li> <li>・生活改善センター→6施設について、関係自治会を指定管理者とした。(指定期間：3年)</li> <li>・自然休養村管理センター→管理組合を指定管理者とした。(指定期間：5年)</li> <li>・川島牧野ほか3施設及び畜産振興総合団地→鹿角畜産農協を指定管理者とした。(指定期間：5年)</li> <li>・八幡平地域連携営農推進団地→(有)八幡平地域経営公社を指定管理者とした。(指定期間：5年)</li> </ul> | 農林課      |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業振興センター→かづの商工会を指定管理者とした。(指定期間：5年)</li> <li>・定期市場、MITプラザ→(株)花の輪を指定管理者とした。(指定期間：3年)</li> <li>・鹿角観光ふるさと館→(株)鹿角観光ふるさと館を指定管理者とした。(指定期間：5年)</li> <li>・八幡平温泉ゆらら→(株)東北ダイケンを指定管理者とした。(指定期間：5年)</li> <li>・八幡平サン・スポーツランド→(株)山麓管理サービスを指定管理者とした。(指定期間：3年)</li> </ul>          | 観光商工課    |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育園、市単保育園→大湯保育園を除いた10施設について、(財)鹿角市子ども未来事業団を指定管理者とした。(指定期間：8年)</li> <li>・大湯保育園→社会福祉法人愛生会を指定管理者とした。(指定期間：3年)</li> <li>・東山デイサービスセンター→社会福祉法人花輪ふくし会を指定管理者とした。(指定期間：5年)</li> </ul>   | 福祉保健センター |
| 低利用施設の利用拡大と管理運営の見直し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大湯温泉総合振興プラザ→支所職員による管理運営、清掃業務等の部分委託に変更して委託料を削減</li> </ul>   | 観光商工課    |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツセンター、アメニティ倶楽部ハウスアリーナ→予約制について検討した。</li> </ul>   | スポーツ振興課  |
|                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・八幡平分駐所→廃止</li> </ul>   | 消防本部     |

⑤環境に配慮した事務事業の実施

| 取り組み項目         | 実績   | 担当部署  |
|----------------|--|-------|
| 市役所エコオフィス計画の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎照明の照度調整を総務企画課で実施。</li> </ul> | 総務企画課 |

⑦市民参加の推進

| 取り組み項目     | 実績  | 担当部署    |
|------------|---|---------|
| 自治会の法人化の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1団体が法人化(累計46団体)。</li> </ul> | 市民サービス課 |

## (2) 組織・機構の簡素効率化

### ①組織・機構の見直し

| 取り組み項目   | 実績   | 担当部署  |
|----------|--|-------|
| 組織・機構の再編 | ・市長部局 4 部 14 課を 3 部 11 課に整理統合し、市民センターを市長部局へ移管。 | 総務企画課 |

## (3) 定員管理の適正化と人材育成の推進

### ①定員管理及び給与の適正化

| 取り組み項目        | 実績                              | 担当部署  |
|---------------|---------------------------------|-------|
| 定員管理適正化計画の見直し | ・職員定数が 9 人減。<br>・臨時職員の雇用形態を見直し。 | 総務企画課 |

## (4) 情報化・広域化時代に対応した行政サービスの向上

### ①IT化の推進

| 取り組み項目            | 実績  | 担当部署                  |
|-------------------|---|-----------------------|
| 庁内LAN及びインターネットの活用 | ・財務会計システムの機能強化→全ての端末で使用可能となり、専用端末が不要になったため、端末の台数を削減した。<br>・期日前投票実施場所の自由化→4 月知事選より市内 6 投票所のどこでも投票できるシステムを導入。 | 財政課<br>選挙管理委員会<br>事務局 |
| 災害・火災情報の提供        | ・ホームページ及び電子メールによる災害・火災情報の提供サービスを開始した。   | 消防本部                  |

## (5) 財政運営の効率化

### ①経費全般の見直し及び財政構造の改善

| 取り組み項目        | 実績  | 担当部署  |
|---------------|---|-------|
| 加盟団体等の負担金の見直し | ・十和田八幡平旅客誘致推進協議会負担金→実施主体が実質（社）十和田八幡平観光物産協会であることから、同協会の負担金に包含するとともに 30 万円削減。 | 観光商工課 |

### ③受益者負担の適正化

| 取り組み項目       | 実績                           | 担当部署 |
|--------------|------------------------------|------|
| 使用料及び手数料の見直し | ・甚兵エ川原簡易水道→上水道料金に合わせ、料金を値上げ。 | 水道課  |

## 17年度取り組み状況総括表

| ＜主要課題別＞                     | 項目数 | 件数 | ○  | △ | ×  | 計画外 |
|-----------------------------|-----|----|----|---|----|-----|
| (1) 事務事業の見直し                | 12  | 35 | 25 | 3 | 7  | 35  |
| (2) 組織・機構の簡素効率化             | 4   | 5  | 2  | 2 | 1  | 1   |
| (3) 定員管理の適正化と人材育成の推進        | 6   | 6  | 3  | 0 | 3  | 2   |
| (4) 情報化・広域化時代に対応した行政サービスの向上 | 2   | 2  | 2  | 0 | 0  | 3   |
| (5) 財政運営の効率化                | 7   | 23 | 5  | 1 | 17 | 2   |
|                             | 31  | 71 | 37 | 6 | 28 | 43  |